

基本情報

施設名	戸塚せせらぎ保育園
所在地	横浜市戸塚区矢部町 3001-2 第7山洋ビル1階
電話番号	045-443-6976
評価年度	平成29年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

評価方法

自己評価	
(実施期間) 平成29年10月10日～ 平成30年1月15日	職員一人一人が評価後、乳児・幼児のリーダーがまとめ、主任、園長で確認し、最終的なまとめを行う。
評価調査員による評価	
(実施期間) 平成30年2月14日 平成30年2月16日	評価調査者2名が、2日間を通し、保育園内の視察、保育内容、園児の観察を行い、園長へのヒアリング、職員との面接、書類確認により評価を行いました。乳児、幼児の食事の観察を行い、保育環境、子どもの遊びの様子および延長保育の観察を実施しました。
利用者家族アンケート	
(実施期間) 平成29年12月1日～ 平成29年12月12日	アンケートのお願いの手紙を同封して配付し、園内掲示板（お知らせ）にて、回収箱を設置。
利用者本人調査	
(実施期間) 平成30年2月14日 平成30年2月16日	0歳～5歳児対象に1日の生活を通して観察を行い、園生活、食事、遊び等を場面観察から考察をまとめました。

株式会社 R-CORPORATION

第三者評価結果報告書

《総括》

対象事業所名	戸塚せせらぎ保育園
経営主体(法人等)	社会福祉法人 大和まほろば福祉会
対象サービス	保育所
事業所住所等	〒244-0002 横浜市戸塚区矢部町 3001-2 第7山洋ビル1階
設立年月日	平成28年4月1日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION
評価項目	横浜市版

総合評価

●戸塚せせらぎ保育園の立地・概要

●戸塚せせらぎ保育園は、JR戸塚駅東口から徒歩4分、駅近に位置し、旧国道1号線沿いの商住地に位置する6階建てマンション（第7山洋ビル）の1、2階を占有部分としています。園の前の旧国道1号線は、横須賀線と交差し、踏切となっているため、開かずの踏切として有名でしたが、現国道1号線は不動坂から横浜新道につながるバイパスができ、電車のアクセスもJR東海道線と横須賀線が同じホームに着くので乗り換えに便利であり、市営地下鉄も利用でき、車・電車共に交通難所の立場（長後街道と鎌倉道の交差点）や湘南台（小田急、相鉄が乗り入れ）とのアクセスが抜群に良くなり、保育園を利用する保護者にとっても利便性が良いところです。

●園内は通りに添って南向きに保育室が設けられ、陽当たりは良好です。園入口へは階段と建物に沿ってスロープの2ルートがあり、バリアフリー設計となっています。また、約40坪の砂地の園庭を有し、固定遊具は設置せずに子どものかけっこ等を中心に、自由に活発に体を動かすことを重視して保育を進めています。

●戸塚せせらぎ保育園の運営主体は、社会福祉法人大和まほろば福祉会であり、設置主体は「あいの里せせらぎ保育園」（札幌市北区）です。園は、平成28年4月に開設され、2年目を迎えた若い保育園です。法人理念に「自分の力で自分の人生を切り拓き 人として自立し世のため人のために 尽くす人を育てる。」を掲げ、法人理念に沿って保育教育理念、保育目標を定めています。園では、「職員の想い」として、「子どもにとって保護者の皆様にとって『第二の家』の存在になるようにします。」「我が子のように愛情を持って接します。」「自分のことは自分で出来る子、転んだら自分の力で立ち上がれる子…。」の3つを明示し、常に職員が子どもたちを守る立場で子どもたちに強い心と、感謝の気持ちが持てるよう教育と育成に愛情を持って力を注いでいます。「えんだより」では、各組の保育士の言葉が掲載され、各保育士を身近に感じられるよう工夫されています。さらに、「善悪の区別」と「大切な生き方」を示し、子どもの自立心を育てています。

●戸塚せせらぎ保育園の保育の方針

●戸塚せせらぎ保育園は、保育教育理念に「すべての子どもが天才である できることはおもしろい おもしろいから練習する、練習すると上手になる 上手になると楽しい そして次の段階へ行きたくなる この繰り返しで 一流に育つ すべては1から始まり 毎日の積み上げで 10年でだれでも一流になれる」と謳い、保育目標に、①「こどもの可能性を引き伸ばし育てる。」、②「人間としての基本を身につける。」、③「転んだら自分の力で起きあがる。」、④「失敗をたくさん経験する。やればできる自信を育てる。」を掲げ、明るい人間関係を築き、素直な心持ち、物事の道理と責任をわきまえた人としての基本を身につけることを目指しています。戸塚せせらぎ保育園は、子どもの将来を見据えた人間形成に力を注ぎ、生きる力を蓄え、子どもの先を見た保育活動に取り組んでいます。日常生活、活動の1つひとつから理念に沿った教育・保育が行われていることが確認でき、子どもたちも基本的習慣がきちんと身に付き、場面ごとにメリハリとわきまえを備え、すくすくと健全に育まれています。

《優れている点》

1. 【向き合う保育・自立への援助】

保育教育理念・保育目標の具現化への取り組みでは、保育教育理念・保育目標に沿い、6か月未満児から6歳児まで年齢別に、「健康（身体機能・運動）」、「人間関係（礼儀・礼節）」、「環境」、「言葉」、「表現」の項目を設け、ねらいと取り組み内容を明示し、各項目を基に年間指導計画、月間指導計画（0歳児～1歳児は個別指導計画）を作成しています。非常勤職員を含め、全職員で子どもの「今」を見つめ、人間形成の基礎作りへの支援の在り方について、各種会議（職員会議、乳児会議、幼児会議、保育会議、食育会議）等で検討を図り、子どもたちと過ごす「今」を大切に保育にあたっています。さらに、登降園時の挨拶、衣服の着脱、食事、排泄の基本的習慣や、スポーツ（体操）を始めとした様々な生活場面でチャレンジをしていく精神を養い、上手くできたら褒め称え、子ども、保護者と共に喜び、子どもの自信につなげ、自立心を培っています。

2. 【子どもが遊び込める環境作り】

戸塚せせらぎ保育園では、園庭に固定遊具の設置をしていますが、子どもたちはかけっこや、玩具収納棚から自分の好みのボールを取り出してボール蹴りやボール投げをして自由に体を動かして遊び、また、お茶碗・お皿や、スコップ、バケツ等を園庭に広げて子どもの自由発想で楽しみながら遊びの展開ができています。保育室内では、テーブルや椅子を片付け、仲良しの友達とブロック遊びや、絵本を取り出して本読みをする子ども、ままごとセットを使ってお店屋さんごっこをして遊ぶ子どもたち等、様々な場面で子ども同士

でルールを作り、互いに思いやりを持ちながら遊びを楽しんでいる姿が見られました。室内・室外遊び共に子どもを主体とした遊び込める環境作りを設定し、職員は子ども中心にサポートに徹しています。

3. 【職員の資質向上への取り組み】

戸塚せせらぎ保育園は、人材育成の目標管理を行い、職員自身が現立場に立ち日々、必要課題を職務遂行の中で振り返り、自身で考え、園長とのミーティングで個々の取り組み課題を設定しています。経験値の浅い職員の教育に力を入れ、園長、主任、先輩職員の指導・助言を受けながら中間、期末に目標達成度の評価を行い、今後の課題を明確にし、課題解決に向けた的確な研修参加計画を立案して資質向上を図っています。職員は、園内研修、新人 OJT、外部研修、法人系列園合同研修等に積極的に参加し、受講後は規定に則って研修報告を行い、全職員で共有を図り、技術向上、知識を深め、職員一人一人のスキルアップにつなげています。

〈さらなる期待がされる点〉

1. 【目指す保育活動の理解について】

戸塚せせらぎ保育園が目指す、「子どもの可能性を引き伸ばして育てる。」「人間としての基本を身につける。」等の他、保育教育理念に謳われている項目の実践を、スポーツ（体操）等を通じて、子ども自身のチャレンジから自立心を推進し、律することが安全の全てに通じるスポーツ指導からの教えや、一人一人に愛情を込めた育みが日々の保育で行われています。また、設定保育と自由遊びのバランスや、子ども自身が順応して個々にメリハリを持って園生活を楽しんでいること等、保護者に正しく理解がされていないと感じられる傾向が利用者アンケートから見受けられます。戸塚せせらぎ保育園の保育活動の実態を今一度、保護者への理解を促し、懇談会の設定による取り組みの周知等、子ども・保護者・園で喜びの共有となるよう一層の努力を望みます。

2. 【地域子育て支援について】

戸塚せせらぎ保育園では、一時保育や育児相談の子育て支援事業は実施していませんが、地域の保育園が協働で行う交流保育の「わいわい保育」の開催においては会場の提供を行い、また、地域住民に対して子育てや保育に関する講習・研修会の1つとして幼児教育コンサルティングを実施しています。継続して地域の子育てニーズの把握と共に、育児相談に関する職員個々の必要スキル向上も含め、取り組みに向けて話し合い、園での育児相談の開催等、地域に根ざした保育園として、子育て支援活動の活躍を期待いたします。

横浜市福祉サービス第三者評価結果

戸塚せせらぎ保育園	
評価年度	29 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重 領域Ⅱ サービスの実施内容 領域Ⅲ 地域支援機能 領域Ⅳ 開かれた運営 領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上 領域Ⅵ 経営管理

評価領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<p>●保育教育理念は、「すべての子どもが天才である できることはおもしろい おもしろいから練習する、練習すると上手になる 上手になると楽しい そして次の段階へ行きたくなる この繰り返して 一流に育つ すべては1から始まり 毎日の積み上げで10年でだれでも一流になれる」を掲げ、保育目標に①「こどもの可能性を引き伸ばし育てる。」、②「人間として基本を身につける。」、③「転んだら自分の力で起きあがる。」、④「失敗をたくさん経験する。やればできる自信を育てる。」とし、保育教育理念・保育目標は、職員室に掲示して目に留まるようにしています。また、明るい人間関係を築き、素直な心持ち、物事の道理と責任をわきまえた人としての基本を身につけることを目指し、全職員共通認識の基、一人一人に合った環境を見つけ出し、楽しく取り組めるよう保育にあたっています。</p> <p>●園では、保育課程を年齢区分(6ヶ月・6か月～1歳3か月未満・1歳3か月～2歳未満・2歳・3歳・4歳・5歳・6歳)に分けて、教育5領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)を設け、「ねらい」と取り組み「内容」を定め、子どもの最善の利益を第一義として策定しています。保育課程は各クラスに掲示し、保護者が確認できるようにしています。</p> <p>●保育年間指導計画は、保育課程に基づいて年齢別に、養護、教育、援助配慮、子育ての支援の項目ごとに全職員がかかわりを持って「ねらい」と「取り組み内容」について作成し、さらに、月案を策定しています。保護者へは、入園時や各年度当初に保育教育理念、</p>

	<p>保育目標、保育課程、年間指導計画、年間予定表等の説明を行い、改定等があった場合は都度、説明しています。</p>
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●入園前に入園説明会を実施し、保護者に子どもと一緒にの参加を願い、入園に向けた説明を行い、保護者の面接中に子どもの様子も観察しています。事前に、保護者に子どもの生育歴や家庭事情等を記入してもらい、面接時の聴き取りと合わせて個別ファイルに記録しています。個別ファイル等は鍵付きのロッカーに保管し、必要に応じて職員が閲覧できるようにし、日々の保育に活用しています。 ●新入児受け入れに際しては、短縮保育（慣らし保育）を実施し、子どもの状況や保護者の就労状況に合わせて時間等の相談を行い、柔軟に対応し、保護者、子どもにも不安等の軽減につなげています。在園児に対しては、1歳児の進級にあたり保育場所が2階に替わるため、3月から環境へ馴れる期間を設け、階段の昇り降りの練習を含め、3歳児と一緒に食事を行う等、配慮しています。保護者との連絡は、連絡ノートを通して連携を行い、登降園時にも子どもの様子を伝えるよう心がけています。複数の担任のいるクラスでは、4月から子どもの登園時に担任が保護者と直接話せるよう、環境作りに配慮して受け入れを行っています。 ●指導計画は、子どもの発達状況に応じて毎月、クラス会議、乳児会議、保育会議等で、関係職員で意見交換を実施し、次月の月案に反映させています。保護者とは連絡ノートやクラス懇談会等を通じて意見・要望を把握し、意向を反映するよう努めています。クラス担任と関係職員によって協議した評価・改定結果は、昼礼時に職員間で共有し、保育につなげています。離乳食やトイレトレーニング等に関しては、保護者と個別に対応するようにしています。
<p>I-3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●施設環境について、園内外の清掃は、職員と子どもと一緒に当番を決めて実施しています。玄関入口は、直ぐ公道になっていますが、職員は登園前に目に付くゴミを拾い、子どもたちが気持ち良く登園できるよう配慮しています。各保育室は、職員と子どもでほうきとちり取りを用いて掃除を行い、階段、廊下共に清潔に保たれています。保育室は、南南東に窓が設けられ、陽が入って明るく、午睡時はカーテンで調整をしています。また、各保育室に温・湿度計を設置し、目標値を明記して管理を行い、日誌にも記録し、快適な環境を提供しています。保育中の音・声については、3歳～4歳児の保育室で歌の練習がありましたが、他のクラスへの妨げとなっていない

	<p>ないことを確認しました。また、近隣への配慮も心がけています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●沐浴設備は、1階の乳児用沐浴室に備え、2階の幼児用トイレにも温水シャワーを設置し、子どもの身体の清潔を保ち、使用後は、「衛生・消毒マニュアル」に従って清掃・消毒を行っています。 ●0歳児と1歳児の保育室は、同じ保育室内でベビーサークルと低い棚で仕切り、小集団保育が行えるよう工夫し、玩具等を置いています。寝食は場所を区別し、子どもが安心して午睡ができるようにし、2歳児や、個別対応の3歳児も1歳児と一緒に午睡を行っています。
<p>I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●園では、0歳～5歳児の月間個別指導計画を策定し、3歳未満児や幼児での特別に配慮を必要とする子どもについては個別の指導計画を作成しています。計画は、各クラスの担任間で共有を図り、各クラスの個別の指導計画は毎日の昼礼や、保育会議で振り返りを行い、子どもの発達状況に合わせて適切な支援につなげています。保護者には日々の様子を連絡ノートで伝え、共有を図り、トイレトトレーニング、手洗い、箸の使い方等の重要部分の変更については説明し、同意を得た上で実施しています。 ●子どもの個別の状況、家庭の個別状況等の記録は、所定の書式(児童育成表、健康台帳、個人表等)に記録し、全職員で共有を図り、記録内容、個別ファイルは施錠付き保管庫に保管し、管理しています。進級時には、重要申し送り事項が記録された個別ファイルを基に、次年度の担当職員に引き継ぎ、継続して引き継ぎノートに記録し、新年度の子ども・保護者への対応に生かしています。保育所児童保育要録は作成し、就学先の小学校に送付しています。
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●特に配慮を要する子どもについては、個別カリキュラムを設定し、毎日のクラスミーティングで話し合い、記録を基に保育会議で検討を図り、全職員に周知するようになっています。職員は、内部研修、外部研修に参加して得た最新情報は報告を行い、職員間で共有し、研鑽を図っています。また、横浜市戸塚地域療育センターの指導を受け、研修報告と共にファイルし、いつでも確認できるようにして実践に生かしています。 ●障害児保育のための環境整備では、玄関の出入り口にスロープを設備し、園内にエレベーターの設置や、多目的トイレも備え、室内はバリアフリーとして環境を整備しています。指導計画では、子どもの障害に沿った個別指導計画を策定し、横浜市戸塚地域療育センターと連携を図り、助言等が得られる体制を整えています。園では保

	<p>育目標に沿い、他児と共に、自らの力の可能性を見出し、共に育ち合うことを大切に保育に取り組んでいます。</p> <p>●虐待の定義については、虐待の「防止マニュアル」に基づき、成すべき行動と対応法を周知し、職員は認識して理解をしています。早期発見では、朝の受け入れ時や着替えの際の視診を心がけ、様子を察知して職員による見守りや、コミュニケーションに努め、虐待の未然防止に努めています。虐待が疑われる場合は、先ず主任、園長に報告し、指示の下、子ども・保護者の生活環境の変化に留意し、関係機関と連携を図り、虐待防止に努めています。虐待が明らかになった場合は、横浜児童相談所、警察、戸塚区役所等に通告・連絡の態勢を整えています。</p> <p>●アレルギー疾患の対応については、マニュアルを備え、食物アレルギー疾患についての必要知識を周知し、かかりつけ医の指示を受けて対応しています。保護者と連携を図り、生活管理指導票にアレルギーの種類を記し、情報はクラス職員間で共有するよう体制を整えています。給食時は、トレイを色分けし、専用食器を用い、アレルギー食物を明示したプレートを貼り、誤飲誤食防止を徹底しています。除去食対応の管理は、栄養士、調理師、各乳・幼児担当保育士で連携して対応しています。</p> <p>●文化が異なる子どもへの対応は、文化や生活習慣、表現、食事、考え方の違いについて理解し、違いを認めて尊重するようにしています。様々な状況を想定して絵や写真、実物で示す対応方法等を準備しています。外国籍に係わる保護者については、コミュニケーションを大切にし、連絡ノートや配付物等には、文章にルビを振ったり、ひらがなで書いて伝える等、意思疎通を図るよう工夫を考えています。</p>
<p>I - 6 苦情解決体制</p> 	<p>●保護者からの苦情等に関しては、入園時に入園のしおりに沿って説明を行い、気付きごとや、意見・要望は適切に対処する仕組みを整え、どの職員でも意見を伺うことを伝えています。また、苦情相談窓口、受付担当者、解決担当者の氏名を明示し、第三者委員も定めて、対応する仕組みを整えています。今年度、第三者評価を受審し、利用者アンケートから意見等を抽出し、今後役に立ていく予定にしています。さらに、保護者が意見を述べられる体制として、意見箱の設置が望まれます。</p> <p>●保護者から苦情・要望の聴き取りについては、クラス懇談会や保育参観、園行事後のアンケート等で要望や意見を把握し、受けた意</p>

	見等は、速やかに職員会議で解決策を検討し、当該保護者等に回答を示しています。過去の苦情やトラブル（連絡ノートでの内容や直接保護者から受けた内応等含む）の検討および対処の結果は、詳細を記録し、保存して再発防止に生かしています。
--	--

評価領域 II サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>II-1 保育内容 [遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが自発的に活動できるよう、園庭では玩具棚の籠にスコップ、バケツ、ボールや、砂遊びができる玩具、外遊びの用具類を整え、子どもが自由に使えるようにしています。保育室内では収納棚に、色々な種類のブロック、絵本、幼児向けの布製の抱き人形や、ままごとセット等を備え、保育士が床上に取り出して自由時間に提供しています。また、自由画帳、絵の具、折り紙等も揃え、自由に使って遊べるようにしています。子ども一人一人が好きなことをして遊ぶ自由遊びの時間は、午睡後（おやつ、歯磨きの後）に確保し、設定保育での時間とのバランスを図りながら保育にあたっています。2歳児以上は午前「かけっこ」の時間を設ける等、体を動かして遊ぶことが園の特徴になっています。 ●子どもが遊びを集中できる環境作りでは、テーブルでコーナーを作り、友達同士で「ごっこ遊び」等を行ったり、床にブロックを長くつなげてレールを作り、ブロックで作った電車(ロケット)を滑らせて創造を膨らませて集中して遊んだり、個々の発想から遊びを展開しています。 ●一斉活動として、自由遊びを中心にカリキュラムを作成し、年齢に応じた集団遊びができるようにしています。朝の会、帰りの会を設け、君が代を斉唱し、童謡をみんなで歌い、活動では、リズム遊び、ピアノの演奏、製作等を行い、みんなで一緒に行うことの大切さを学んでいます。また、園の特徴である体操では、子どもたちは高度な身体能力を発揮し、カエルジャンプ、壁逆立ち、手踏み、横歩き、縦歩き、逆立ち歩き等を習い、順次、目標に向かって技量の習得に進み、「アザラシ回転」ができるまでチャレンジしています。子どもの健やかな体作り、感覚を身に付ける運動によりケガの防止や安全のためにも重要とし、筋肉や関節のバランス感覚も養っています。体操を通して、失敗に負けないことを教え、失敗をたくさん経験し、やればできる自信を育てて

	<p>います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●栽培では、季節の野菜（枝豆・大葉・トマト・キュウリ・ヘチマ等）を園庭で栽培し、水やりを行い、生長の過程を観察し、収穫した野菜は給食に取り入れる等、食育につなげています。栽培活動により、今まで苦手だったキュウリやトマトも食すことができるようになり、保護者からも喜びの声が挙がっています。動物の飼育では、園では動物の飼育は行っていませんが、散歩等により身近な生き物に親しみ、触れ、関心や愛情を育み、命の尊さを知る機会を持つようにしています。 ●年齢や発達状況に応じて、子どもが自発的に自由に表現できる環境作りを行い、園庭では異年齢や年齢別にボールやおままごと等、創意工夫をして自由に表現して遊んでいます。また、自由画帳、絵の具を使用して表現を楽しみ、保育士のピアノに合わせて全員で歌の合唱や、リズム遊び等、音楽に合わせて体で表現する遊びを楽しんでいます。 ●子ども同士のケンカについては、保育士は危険のないよう見守りながら、子ども同士で解決ができるよう援助しています。職員は常に、公平で温かい態度と言葉遣いを心がけ、互いの話を聞き、相手の気持ちに気付けるよう、自分の立場に置き換えて理解を促し、譲り労わり合えるよう、年齢に応じた援助を行っています。毎日、朝夕は異年齢で過ごし、日中の異年齢との活動プログラムにより、年上の子どもと年下の子どもが交流する機会も設けています。 ●健康増進については、園では園庭遊びに加え、散歩も積極的に取り入れ、散歩先の公園でも準備運動、片足飛び、持久走、単距離競争等で体力作りを促進しています。さらに、日々のプログラムに体操を組み入れて専門講師の指導により、体力と技量が備わるようチャレンジメニューを設け、子どもたちは楽しみながら、自信にもつながっています。また、健康では、その日の登園の健康状態を把握し、既往歴に配慮して遊びを選択する等、配慮しています。
<p>Ⅱ－１ 保育内容 [生活]</p> <p style="text-align: center;">  </p>	<ul style="list-style-type: none"> ●食事については、0歳と1歳児は、同じ保育室で離乳食用の4人掛けの半円形のテーブルの中心部に保育士が添い、常に子どもと対面しながらグループで摂っています。2歳児は2階の保育室で1グループになって食事を行い、3歳～5歳児は年齢ごとのグループで食事を行っています。保育士は、子ども一人一人の摂食

量を把握し、完食の喜びを味わえるよう年齢ごとに盛り付けを配慮し、お代わりでは子ども自身が食べられる量を伝えています。4歳児と5歳児は、各自が盛り付けを行い、ご飯、おかずも自由にお代わりができるようになっており、多くの子どもがお代わりをし、おいしく楽しく食事を摂っています。

●食事とマナーについては、食事に入る前は手洗いを済ませて席に着きます。食事テーブルに各自のランチマットを敷き、コップを揃えて置き、当番による食事の準備が整うまで楽しくおしゃべりして待っています。当番は、消毒液の容器を持って、各テーブルを巡回し、配膳されたところで、当番は食事の挨拶を行います。子どもたちは、立腰姿勢で「お父さん、お母さんありがとうございます。命の恵みに感謝していただきます」と、手を合わせて斉唱し、一斉に食事を行っています。おしゃべりに夢中になった場合は、保育士が、決まりの時間に遅れてしまうことや、他の友達にも迷惑がかかることを教え、子どものペースを尊重しながらも食事に集中できるよう、目標時間内の食事を促しています。

●献立は、園独自に作成し、毎日、栄養士・調理担当者が各クラスを巡回し、子どもの食事状況を確認し、残食を記録しています。月1回、給食会議を実施し、献立や調理方法について職員と話し合い、検討結果を献立、調理方法等に反映させています。献立表は、保護者へ事前に配付し、子どもにも毎日の献立内容をわかりやすく説明しています。給食の実物は玄関ロビーに展示し、レシピはホワイトボードに記載して伝えています。食育でのスナップ写真も年齢別に「取り組み内容の説明」と共に貼り出し、理解を促しています。食器は、子どもの成長に合った箸の長さ、茶碗の大きさ・深さに配慮し、手の大きさを考慮して提供しています。

●午睡については、落ち着いて眠れるよう工夫し、室内の採光に配慮して心地良く眠れるよう環境を整えています。園では、保育士がコットの間に座って見守りを行い、うつ伏せ寝防止を行っています。家庭の状況や子どもの体力、生活リズムを大切にしながら、2歳児は進級に向けて秋ごろから睡眠調整に入り、3歳児以上は午睡をなくすようにし、個々に個別対応を行っています。

●排泄の訓練については、個人差を尊重し、保護者と密に連携をとりながら、家庭での状況も把握して子どものリズムに合わせて進めています。スタート時は保護者に伝え、排泄状況を知らせながら成功を共に喜び合っています。排泄に失敗した際は、優しく

	<p>言葉をかけて、子どもの自尊心、羞恥心に配慮しながら温水シャワーを活用する等、気持ち良く過ごせるようにしています。</p>
<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p> 	<p>●健康管理は、マニュアルに沿い、個人別の健康台帳により子ども一人一人を把握しています。既往症については、入園時の健康記録を基に継続して確認しています。変化がみられた場合は、ミーティングや引継ぎノートにて職員間で共有を図り、主任、園長に報告しています。歯磨きについては、1歳児から食事が終わった後に歯磨き指導を実施し、子どもは自分の名前が入った可愛い歯ブラシを覚え、保育士が仕上げを行っています。</p> <p>●感染症等については、感染症登園停止基準、感染症の疑いが生じた場合の対応について、入園のしおり（病気・怪我・保険関係について）の項を示し、「健康管理マニュアル」に沿って入園説明会時に保護者へ説明しています。感染症が発症した場合は、園内感染拡散の防止を第一に注意喚起を図り、入り口ホールのホワイトボードで告知しています。保育中に発症した場合は、速やかに保護者に連絡し、職員室に子どもを隔離し、お迎えを依頼しています。入り口には「入室禁止札」を掲げ、感染症蔓延に注意しています。地域や最新の感染症情報は、区役所から入手し、情報は職員間で共有を図り、対応策の周知徹底をしています。保護者に対しては、緊急時のメール配信「戸塚せせらぎ安心メール」への加入を勧め、加入者にはインフルエンザ情報、不審者情報、その他行事のお知らせ等をスマホで受信できるシステムを導入し、活用しています。</p> <p>●定期的に健康診断、歯科検診を実施し、結果は身体測定カードや、健康記録ノートに記録し、歯科検診の結果は歯科検診票に記入して保護者に知らせています。必要に応じて口頭でも連絡を行い、嘱託医から助言を得て、伝えています。情報は会議等で共有し、家庭と連携を図り、子どもの健康に配慮しています。</p>
<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<p>●衛生管理について、衛生管理のマニュアルを備え、感染症に関する対応、ノロウイルスに関する対応マニュアルを完備しています。マニュアルに添って園内研修を実施し、処置方法を習得し、各保育室に嘔吐処理セットも設置しています。散歩等から戻って保育室に入る前には必ず、うがいと手洗いを励行し、子どもたちは習慣が身に付いています。各洗面所には手洗いの手順をわかりやすく図で示しています。また、給食時の当番は配膳用エプロンと三角巾を着用し、衛生管理を行っています。</p>

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理
理 [安全管理]



●安全管理では、「危険防止マニュアル」を完備し、マニュアルに沿って園内研修を実施し、職員に周知しています。地震対策では棚上からの落下防止をL字金具等で固定し、低い家具を採用して、備品等は安全対策を講じています。緊急連絡網は職員室と保育室に掲示し、緊急避難訓練と共に予行演習も実施しています。職員は救急救命法およびAEDの使い方を受講し、緊急時に備えています。

●子どもの事故やケガについては、保育中に発生した場合は、直ちに担任、または主任が保護者に連絡を行い、記録に残し、職員間で周知を図り、再発防止に努めています。通院が必要なケガや事故の際は、必ず事故報告書に記載し、医師の指示を保護者に伝え、職員は情報漏洩・誤伝達に留意し、必要事項を記録の上、伝えることを徹底しています。

●外部からの侵入に対して、玄関入り口に電子錠と防犯カメラを設置し、不審者等の侵入防止策を講じています。保護者には電子カードを配付し、送迎時に提示して入館してもらうようにしています。また、事前に子どもの送迎における保護者の顔写真を登録してもらい、登録のない大人には子どもの引き渡しはできない体制としています。さらに、警察、警備会社に直結したシステムを設備し、安全を確保しています。園では、保護者の事前登録により、不審者情報が発信される「戸塚せせらぎ安心メール」を採用しています。

Ⅱ－３ 人権の尊重



●人権の尊重は、保育、保育士の基本と心得、職員は、子どもに対して威圧的な言葉遣い、強制、自尊心を傷つけるような保育は行っていません。子どもの呼び方は「ちゃん」付けで呼んでいます。また、注意の際も言って聴かせて納得できるようにし、叱る行為は行っていません。園では、「すべては1から始まり 毎日の積み上げで 10年でだれでも一流になれる」とした教育 保育理念と、保育目標の「こどもの可能性を引き伸ばし育てる」に沿って、共通認識の基、子どもに接しています。

●他人の視線を意識せず過ごせる場所として、エレベーター前のコーナーや、各保育室の隅も子どもが一人で過ごせる場所とし、保育士の視線を感じないように配慮しています。プライバシー確保が必要な場合は、職員室や空き保育室を活用しています。

●個人情報の取り扱いや守秘義務については、マニュアルを備え、職員は、入社時の導入教育で個人情報の取り扱いについて説

	<p>明を受け、誓約書を提出しています。保護者には、入園説明会にて、入園のしおりで個人情報の取り扱いについて説明し、同意を得ています。実習生の受け入れの際も守秘義務・個人情報取り扱いについて説明を行い、誓約書を交わしています。</p> <p>●性差に関する配慮では、体操時には男女に分けて整列することがありますが、遊び、行事時の役割、順番、グループ分け、通常時の整列等では区別はしていません。教材は子ども個々が好みで選択できるようにし、給食や食育時の男子職員の割烹着も女子職員と同じ仕様です。また、父親・母親の役割を固定的に捉えた話し方や表現はしないようにしています。</p>
<p>II-4 保護者との交流・連携</p> 	<p>●園の教育 保育理念、保育目標は、入園説明会時に説明を行い、玄関ホール、職員室、各保育室にも掲示しています。また、毎月のえんだよりも「今月の目標」を示し、各クラスの子どもの成長と、今後の取り組みを掲載し、日々の保育を理解してもらえるよう心がけ、日々理念に基づいた保育の実践に努めています。年度末には、保育目標に沿った子どもの成長過程を個人別に事例を挙げ、報告し合い、振り返りを行っています。</p> <p>●園生活での様子や活動内容は、0歳、1歳児は個別の連絡ノートで子どもの状況を伝え、3歳～5歳児は日々の活動状況をクラスノートに記載して知らせるようにし、口頭でも伝えていきます。希望者には連絡ノートの運用を行い、送迎時に担任、他職員から子どもの様子が伝えられるようにしています。保護者との連絡、伝達事項は、引き継ぎノートを活用し情報を共有しています。</p> <p>●個人面談は面談週間を設け、保護者の都合を考慮して日程を決めて実施し、懇談は、必要に応じて随時実施しています。保護者懇談会は年1回、行っています。保護者の相談については、職員室を使用し、入り口に面談中を表記してプライバシーを確保できるように配慮しています。相談は担当保育士が対応し、他の職員とも連携をして適切な対応ができるようにしています。相談内容は記録し、継続的にフォローをするよう努めています。</p> <p>●園生活に関する情報は、各クラスの日常の保育状況（室内活動・園外活動）を写真に撮り、掲示して伝えていきます。戸塚せせらぎ保育園のえんだより（毎月発行）は、各クラス（夢・星・風・虹・光・空）の幼児が描いた季節の絵を表紙にして、園から保護者へ一言に加え、年間取り組み目標や、月別の子ども一人一人の取り組み目標、1日の流れ等が詳細に記載され、保育士のプライ</p>

	<p>ベートも垣間見られる記事もあり、温かい手作りで発行し、保護者に伝えています。</p> <p>●保護者の保育参加・参観については、年間行事予定を配付し、保護者が予定を立てやすいように配慮し、積極的に受け入れています。保護者の自主的組織は現状、保護者から希望や要請を受けていないので設けていません。園長、保育士は、保護者とのコミュニケーションに努め、意見交換がしやすい雰囲気作りを心がけています。保護者からの要請では、卒園の謝恩会に会場を提供し、園長や主任も謝恩会に招待を受け出席しています。</p>
--	---

評価領域 III 地域支援機能評価領域

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>III-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<p>●地域住民との交流では、町内会に加入し、地域の一員として地域の情報等を得、地域のニーズの把握につなげています。また、教育 保育理念、体操等の指導を通じて習得した礼節、足を揃えての挨拶等、園の子どもの礼儀正しさは類を見ない特徴であり、見学希望者も多く、地域の受け入れの一環として対応しています。さらに、関係機関の研究会での「わいわい交流」に参加し、園長は地域園長交流会に出席し、地域のニーズに即した活動を実施しています。</p> <p>●地域の子育て支援では、園で子育て支援事業は実施していませんが、地域の他保育園との交流保育において「わいわい交流」の会場に園を提供し、地域の子育て支援のニーズを把握する機会にしています。園では、住民への子育て保育の講習やコンサルティングを実施しています。今後、定期的な育児相談や、一時保育の預かり等、地域の子育て親子に向けた取り組みが期待されます。</p>
<p>III-2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<p>●地域住民に対する園の情報提供では、戸塚区の子育て情報サイト、広報よこはま戸塚区版等に掲載して情報提供しています。育児相談については、園見学者等の希望に応じて担当職員が対応しています。また、園の情報提供の1つとして、子どもの体操の成果発表会には小学校の体育館や保土ヶ谷区の岩間市民プラザを利用して行い、保護者や地域の方々に参加を促しています。</p> <p>●関係機関・団体との連携では、戸塚区役所こども家庭支援課と</p>

	<p>連携を図り、戸塚区のケースワーカーの巡回を受け、相談・助言を得られる関係を構築しています。他、児童相談所、地域民生委員、横浜市戸塚地域療育センター等とも連携を密に保ち、対応できる体制を整えています。</p>
--	--

評価領域 IV 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<p>●地域への園の理解促進の取り組みとしては、子どもの体操の成果発表会の開催や、運動会に卒園児・家族等を招待して参加してもらい、園の理解を促す機会につなげています。地域との交流では、散歩時に行き交う地域の方々に声をかけてもらったり、大きな声で元気よく挨拶を交わし、地域の方と交流をしています。自治会から行事のお祭りの案内をもらい、子ども・保護者と一緒に参加しています。園行事の案内は、自治会の協力によりポスターの貼り出し許可をもらい、町内告知を行っています。</p> <p>●子どもと地域との交流では、地域の文化・レクリエーション施設等を利用し、戸塚図書館等を利用しています。運動会では東戸塚小学校の協力を得て運動場を借用して実施し、9月に開催する体操発表会では小学校の体育館で成果発表会を行っています。小学校とは積極的に連携を図り、近隣の中学の体験学習の希望を聞き、職業体験の受け入れを行っています。区域内小学校の運動会では、プログラムの新入予定者の種目に卒園予定者として参加し、交流を図っています。</p>
<p>IV-2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<p>●園のサービス内容・保育方針などの情報提供は、入園のしおりに、園の概要、保育教育理念・目標、クラス紹介、年間行事、保育時間、延長時間料金、保育内容、給食等、諸事項を詳細に明示し、入園説明会で提供しています。また、ホームページでは園の保育教育理念に基づく活動内容を紹介し、戸塚区の保育園広報誌、横浜市の「ヨコマはびねすぽっと」等に園の紹介をしています。園見学者や来園者には、必要な園の情報を提供しています。</p> <p>●利用希望者の園見学に関する情報は、戸塚区の案内で周知され、利用者の問合せの対応は主任、園長が行っています。園見学希望者の希望に添える日程調整については、園活動に支障のない範囲で希望者の都合に合わせて対応し、多い日には1日に8組20人の受け入れを行い、年間におよそ100人以上の園見学者の受け入れを行っ</p>

	ています。
<p>IV-3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<p>●ボランティアの受け入れは、窓口担当や必要な手続きのマニュアルも完備していますが、現在、園方針によりボランティアの受け入れは実施していません。今後、近隣の中学生・高校生のインターンシップの受け入れを検討しています。</p> <p>●実習生の受け入れでは、マニュアルを備え、受け入れ窓口を主任または園長を担当とし、事前にオリエンテーションを行い、園の教育 保育理念、保育目標を伝え、個人情報・守秘義務について説明し、署名・承諾を得ています。実習では、課題に沿った実習プログラムを作成し、実習中は充実した実習ができるよう指導に努め、最終日は懇談会を開催し、担当職員、園長、主任が同席して実習で得た課題や意見等を聞いて次回に生かしています。</p>

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<p>●必要な人材の採用については、法人で保育所運営に必要な人材構成、要員を把握し、関連の保育園との人的交流も併せて人材確保に努めています。人材の補充については、十分な人材構成であるかを検討し、必要があれば補充する体制で運営しています。現在、入所児童数（0歳児6名、1歳児12名、2歳児15名、3歳児15名、4歳児16名、5歳児7名、年度限定型保育3名）の計74名を、職員数22人で安全に保育にあたり、必要人員を確保しています。</p> <p>●職員、非常勤職員の研修体制については、人材育成計画に伴う研修計画を策定し、新人導入研修では、理念・方針・倫理等をマニュアルに沿い、主任、園長によって指導しています。また、園外研修、他の福祉施設での実地研修に参加し、研修受講後は、会議等で報告を行い、全職員で専門技術、知識を共有し、保育に生かしています。園内研修も実施して研修成果を保育の実践につなげ、資質向上に努めています。</p> <p>●非常勤職員の配置や業務内容については、非常勤職員も正規職員と同じ姿勢で職務にあたり、指導については、担当者を定め、資質向上への取り組みを行っています。実務にあたっては実務年数等を考慮し、正規職員との組み合わせに配慮しています。また、業務マニュアル、必要ファイルを閲覧できるようにして必要情</p>

	報・知識の共有を図っています。園長は、非常勤職員・職員間のコミュニケーションを図りながら円滑に保育を進めています。
V-2 職員の技術の向上 	<p>●保育士の自己評価は、毎日の保育日誌、月案・年間指導計画・個別指導計画に照らし合わせて振り返りにより実施しています。また、毎日の昼礼を通して諸連絡と共に、職員の日々の気付きや反省、改善等を勉強会につなげ、職員の技術向上に努めています。保育の技術評価では、必要に応じて、コスモスポーツクラブ専門員による体操指導と併せて評価を受け、外部の幼児活動研究会株式会社からコンサルティングも受けています。園長は、法人系列園長から推薦を受け、法人本部から、サービス向上を目指した保育指導の評価として表彰を授与しています。</p> <p>●保育所の自己評価については、今年度の第三者評価受審により園の課題、改善に向けて取り組み、次期につなげていきます。</p>
V-3 職員のモチベーション維持 	<p>●職員は、自己管理目標に取り組み、園長と面談を行い、指導・助言を受けて目標を定めています。取り組み姿勢として、「子ども一人一人の成長過程を重視し、保育目標の子どもの可能性を引き出し育てる。」「人間としての基本を身に付ける。」を示し、各職員の資質向上の達成が、園のサービスの資質向上につながるよう、自己啓発に取り組んでいます。また、園長は、個々の希望、意向を吸い上げ、より良い園・職場環境作りに努め、職員のやる気につなげています。</p>

評価領域 VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
VI-1 経営における社会的責任 	<p>●職員の守るべき法・規範・倫理等は、就業規則・サービス規定に明示し、職員は守るべき倫理を遵守しています。リスクマネジメント・コンプライアンスについては、他施設で発生した不正・不適切な事案、事故事例等の情報を、昼礼時に取り上げて周知し、他人事とせず、我が身に置き換え、事例の発生理由等を全職員で考える機会を設け、意識して行動するよう周知し、守るべき規範について再確認しています。</p> <p>●環境整備では、横浜市の条例に基づきゴミ減量化や、リサイクルに取り組んでいます。ゴミは分別収集管理を行い、省エネルギーの促進では、節電・節水を心がけ、トイレの照明、階段踊り場の照明等を自動点灯・消灯にし、水道蛇口はきちんと閉めること</p>

	<p>を子どもにも説明して全体で励行しています。園庭で花や野菜の栽培、プランターでヘチマを栽培する等、緑化促進を行っています。園では、園内外共にゴミ拾いや安全確認をしてから子どもたちが安全に遊べるようにしています。</p>
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●園の教育 保育理念、保育目標は、明文化し、園内に掲示して示しています。保護者に対しては、園のしおりに明示し、入園説明会で園のしおりに沿って説明しています。また、園見学者にも法人理念・保育目標が明示されたパンフレットを手渡し、周知しています。職員は、入社時の導入教育研修で説明を受け、職員室、園内に掲示して意識を持つよう周知を図り、職員面談を通しても理解度を確認し、理念が保育で反映されるよう、意識統一に努めています。 ●重要な意思決定については、クラス懇談会で保護者の意見を聴き、職員間で継続して検討を行い、行事後でのアンケートから保護者の意見を把握し、決定後、園だよりで報告しています。園長は、保護者の情報や意見収集に努め、主任、クラス担任と連携を図り、職員の役割分担により実行を推進し、保育課題の解決に指導力を発揮し、園運営に尽力しています。 ●スーパーバイズのできる主任クラスの育成では、園長は、職員育成ビジョンに沿った法人主催の主任研修に参加を促し、外部研修での希望する受講への支援を行い、園全体を把握する主任の育成に努めています。主任は、フリー職員の活用による担任の業務状況を把握し、必要に応じて支援手当を行っています。また、個々の精神面、肉体系面に配慮し、職員一人一人の能力や経験に応じて助言や指導を行い、園長補佐として、円滑な業務に向けて尽力しています。
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●園長は、事業運営面に影響のある情報に関して、各職員が情報を収集し、主任と共に公式・非公式に精査して検討の上、周知すべき内容について課題として投げかけ、職員間で話し合い、園全体で取り組んでいます。また、園長会議で得た経営層の意向、情報、特に事故等の情報については、職員会議で周知徹底を図り、園の現体制を見直し、改善すべき点を見極め、安定した園運営に努めています。 ●中・長期的計画については、短期（1～3年）、中期（3～6年）、長期（6年～）の事業計画を、経営・保育事業・人材育成の面か

ら長期展望の基、子どもの幸せと組織の発展を踏まえ、策定しています。園長は、横浜市の事業者説明会に出席し、運営に関する必要情報は職員に伝え、共有認識を図っています。外部のアドバイスでは、幼児活動研究会株式会社・コスモスポーツクラブ専門員による評価を受け、保育のコンサルティングを受けて研鑽を図り、より良い園運営に尽力しています。

戸塚せせらぎ保育園

* 観察調査日	平成 30 年 2 月 14 日・16 日
* 保育観察	保育園を調査者 2 名で全クラスの視察、観察を行いました。調査訪問日の 1 日目に園外活動での散歩に同行し、また、生活の保育観察を行い、食事に同席して食事の様子、保育士のかかわり方、園児の様子を観察しました。各年齢については、1 日の保育の観察を通してそれぞれの特徴を捉えて記しています。

■0 歳～5 歳の子どもの様子・保育の様子

<0 歳～2 歳児>

【保育室での様子】

●乳児保育室では、0 歳児室（夢組）と 1 歳児室（星組）が保育サークルと低いカウンターで仕切られ、0 歳児 6 名と 1 歳児 12 名が 1 歳児のスペースを活用して元気良く、思い思いに体を動かして遊んでいます。0 歳児は保育士に抱っこされて遊んでいる子どもたちを目で追い、時折、指でさしながら保育士に喃語を話しています。調査者が保育室の窓からのぞいているのを子どもがを見つけ、笑顔を見せてくれたり、保育士の背中に隠れる子どもや、興味を示して駆け寄ってくる子どももいます。保育室の中に入ると、人懐っこく手をつなぎにきてくれたり、調査者のミッキーマウスの名札を見つけて、「ミッキー」と言って触ってみたり、0 歳児の子どもが 1 歳児の真似をして、同じようにミッキーの名札を指さしてニコニコしていました。突然の知らない大人が来ても保育士が傍にいることにより、安心して迎え入れてくれた子どもたちでした。

【午睡と着替えの様子】

●午睡では、それぞれの保育室にコットを置いて眠ります。2 歳児（風組）も食事を終えて保育室のある 2 階から階段を下りて、1 歳児の保育室で一緒に午睡を行っています。0 歳児はすぐに眠りにつき、1 歳児、2 歳児は、入眠時は体の場所を整えるようにゴソゴソしていますが、保育士が傍にきて背中をトントンすると、安心して眠りについていました。午睡後は、調査者が「良く眠れた、眠くない？」と声をかけると、タオルケットから這い出してにっこり笑ってうなずく子どもや、声をかけられてもまだ眠そうな子ども等、様々な表情を見せてくれました。保育士が「さあ起きてトイレをしよう！」と促すと、眠そうにながらもトイレに行き、戻ってくると着替えを行い、0 歳児は保育士によって着替えが行われ、1 歳児は個々に、洋服に手が入らなかつたり、時間をかけて裏表の間違いもせず一生

懸命に着替え、2歳児は、自分の着替えが入った袋から洋服を取り出し、慣れた手つきで着替えていました。みんなの中では年上なので、2歳児の子どもたちがお兄さんお姉さんに見えます。着替えが終わると歯磨きを行い、おやつのを待ちます。1歳、2歳児の子どもたちは、保育士の指導の下、きちんと流れを乱すことなく基本的な生活習慣ができていました。

<4歳～5歳児>

【お散歩・公園遊び】

●午前中、4歳児（光組）と5歳児（空組）で「吉田電車の見える公園」へ調査者も一緒に散歩に出かけました。19名の子どもたちが二人一組となって2列に並び、5歳児が道路側になって手をつなぎ、出発する前は点呼を行い、列の前から「イチ、ニイ、サン、・・・」と順に声を出して確認を行います。歩道では、保育士が「自転車が来ますよ」の声かけで子どもたちは端に寄って止まり、交差点に来ると、立ち止まって「右・左・前・後」と声を出して確認しながら手を挙げて横断歩道を渡り、交通ルールと安全確認が身に付いています。子どもたちは大好きな電車が見える公園に向かうことに張り切って喜々として歩き、公園に到着。公園は、元道路を改造して左右に長い公園が作られており、左の公園に向かうと、東海道線と直角の位置になっており、子どもたちが言っていた電車が走っているのがすぐ身近に見え、大好きな公園というのがわかります。到着後は、準備運動を行ってからジャンプ、ケンケン飛びを行い、次に、公園の真ん中に赤いコーンを6個並べて置き、先頭に保育士が立ち、そこまで何週も繰り返して走る持久走を行いました。体を動かして暑くなり、上着を脱いでいましたが、子どもたちはみんな当たり前のように上着をきちんと畳んでいることにびっくりしました。次に、二人ずつで競争を行い、足の速い子にはハンディを付け、1～2メートル離れた位置からスタートします。離れてスタートラインに立った子どもは、「ちょっとムリムリ」と言いながら、誇らしげでもあり、みんな段々と気合が入り、手を大きく振って、足を高く上げ、前傾姿勢で本気で走り、園の教育方針と、子どもたちのやる気が備わっていることに2度目に驚かされましたが、子どもの身体能力向上や、自分に負けない気持ちが育まれています。中には、競争に負けて悔しがる子どもや、涙している子どももいましたが、転んで足に擦り傷をした子どもは保育士に手当てをもらい、また、チャレンジしていました。全員が走り終え、順位発表では個々の表情が大人びて見えました。運動をした後は、自由遊びを行い、逆立ちや横転、ブリッジを「これでもできるよ」と、何回も見せてくれる子どももいて、とても上手で、褒めると嬉しそう得意気でした。また、体をクールダウンするかのようには電車を見て楽しそうにしている子どもや、保育士と遊ぶ子ども等、たっぷり運動をして、子どもたちはお腹を空かして園をめざして帰ります。園に着くと、子どもたちは大きな声で、「帰りました！」と職員室に一人一人が声をかけ、他の保育士たちに「おかえりなさい！」と迎えてもらい、礼節に沿った姿勢が園全体で規律としてあることを垣間見る瞬間でした。2階の保育室に入るとすぐに

手を洗い、トイレを済ませ、食事が始まる準備を行いました。保育の方針にきちんと習い、培われた運動能力・体力作りは将来の糧となり、子どもの自信にもつながり、子どもの未知なる成長に期待がされます。

<3歳～5歳>

【給食の様子】

●3歳児・4歳児・5歳児の給食は、3歳児（虹組）と4歳児（光組）の保育室を利用して合同で食事を摂ります。各年齢で机が配置され、1つのテーブルに4・5名で席につき、食事を待っています。今日の献立は、ハヤシライスと、スパゲティサラダ、スープ、果物にはバナナが提供されました。給食当番は各クラスから当番として食事のお手伝いを行い、配膳用エプロンと三角巾を被ってお世話をしています。当番では、消毒液の容器を持って、各テーブルを巡回し、一人一人に「手を出して」と言って手にスプレーを行い、立っていた調査者にも、「どうぞ」と言ってスプレーをしてくれました。4歳児の当番の子どもは、調査者に「こちらにどうぞ」と案内をしてくれ、調査者2名は、5歳児のテーブルと、4歳児のテーブルの席に着きました。3歳児と4歳児の食事は職員によって盛り付けられ、当番が各テーブルに配膳し、5歳児では各自で自分の量を決めて自主的に盛り付けをしていました。お茶は、コーナーに設置され、各自がコップを持って汲みに行き、席につきます。配膳されたところで、当番は食事の挨拶を行います。子どもたちは、足を揃えて姿勢を直し、「それでは皆さん、お父さん、お母さんありがとうございます。命の恵みに感謝していただきます」と、みんなで斉唱し、きちんと行儀よくルールに倣い、一斉に食事が始まりました。子どもたちは、調査者に「おいしいね」と話しかけて来て、「どこから来たの?」、「何しに来たの?」、「何歳?」等、それぞれの子どもの質問していきます。自分の家庭の話をしてくれる子ども等、人懐っこく、とても楽しく食事が進みます。話に夢中になり食事の手が止まったり、さっさと食べてお代わりをする子ども、度々お代わりして保育士に「何回目?」と言われ、笑顔での会話も飛び交い、おいしい食事と楽しい時間が過ぎて行きます。また、調査者と背中合わせで座っていた子どもは、気になるのか、何度も洋服の袖を引っ張り、食べ終えた後に傍に来て、今度は髪の毛をひっぱったり、調査者の顔の皺をつまんだりして皆に見せ、他の子どもたちも声を上げて笑っていました。保育士が、「未だ食べているお友達もいるから席について待とうね」と促され、子どもは席に戻り、全員で「ごちそうさま」を言い、部屋の片づけを始め、各自、席の下の溢した食べ物を拾い、床をきれいにして床拭きと、各テーブル拭きを当番と他の子どもたちが一緒に行っていました。子どもたちは、食事の一連の流れが習慣付いており、そして、食事はリラックスして楽しくおいしく摂り、子どもたちのスイッチの切り替えも上手にできていました。

<0歳～5歳>

【食育】～餃子の皮を使ったピザ作り～

●調査当時は、月1回の「食育の日」でした。前日に0歳、1歳児が、食材の玉ねぎやピーマンに実際に触れて食育が行われ、写真に撮って保護者にお知らせしています。そして、2歳児が、その材料をきれいに水洗いし、大きな籠に入れて保管しておいてくれました。今日は、その材料を使って3歳児・4歳児・5歳児が合同でピザ作りを行いました。3歳児は、机に大きなバットを並べ、餃子の皮にケチャップをスプーンで薄く広げて塗っていく作業を行い、子どもたちは与えてもらった役割をわきまえて真剣な表情で取り組み、他の子の出来栄と見比べて修正もしています。4歳児は、玉ねぎを薄切りにします。籠にたくさんの玉ねぎが入っていて、「目は痛くないの」と聞くと、「痛くないよ!」と言い、前日に水洗してさらしてあるからでしょうか、部屋中の玉ねぎの匂いで涙が流れないように保育士の配慮があったようです。包丁使いでは、左手の形は猫の手で、「そうそう、いいよ、包丁で切ってみて」と保育士から励まされ、押し付けるだけでは切れない様子を見て、保育士は、「包丁を手前に引くのよ」と手を添えて子どもに教えています。やっと玉ねぎが切れた子どもは、緊張で息を止めていたのか、「ふっ」と大きく息を吐き、真剣に取り組んでいました。

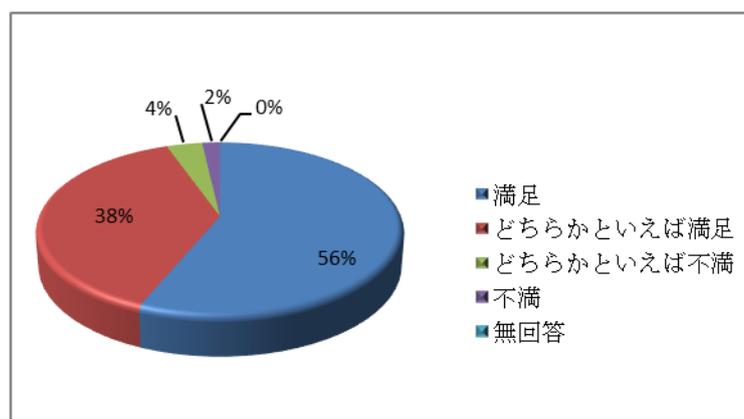
保育士から「あら!上手~!」と言われ、子どもは笑顔になり嬉しく安堵していました。刻む調理は、一人ずつ5切ほど切ると交代し、順番に切り、時たま保育士が手直ししています。それぞれのテーブルで行い、保育士や栄養士は大忙しに子どもに教えながら楽しく調理に取り組んでいました。「次はピーマンよ!」という保育士の指導を見せ、まな板の上にピーマンを置いて、手で押し潰してから刻み、匂いも嗅がせみせて、興味を促しています。ベーコンは、1枚ずつ剥がしながら刻み、野菜とは少し勝手が違うことを子どもたちは学び、玉ねぎ、ピーマン、ベーコンを全員が苦闘しながら、刻み終わりました。それぞれに刻んだ材料が集められ、餃子の皮と共に野菜類を器に小分けし、各テーブルに配られ、その後は、餃子の皮に具材をトッピングする作業に入りました。各テーブルで、皆で楽しく均等に具材を乗せていき、ピザの下地が出来上がりました。子どもたちは手を洗い、片づけを行い、後は、調理室に運んでチーズを乗せて焼き上げます。子どもたちは食材に触れ、包丁も体験し、ピザができる過程を知り、おいしいピザが出来上がり、食べる楽しみに喜びもひとしおでしょう。子ども一人一人のがんばる姿がとても印象的でした。

【戸塚せせらぎ保育園 利用者アンケートの特徴】

実施年度 / 評価項目手法	29年度 / 横浜市版
アンケート調査対象	利用者家族 配付世帯数 (64 世帯数)
有効回答数	55 世帯
世帯総数に対する回答者割合 (%)	86%

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
6 世帯	12 世帯	14 世帯	10 世帯	9 世帯	4 世帯

*回答があった利用者満足度の内訳 (%)



●利用者アンケートの特徴として、保育園の快適さや安全対策などについての項目が、総合的に『満足』が高く、『満足』と『どちらかといえば満足』を合わせて（以下、「ほぼ満足」という）見ると、中でも、「施設設備について」が、「ほぼ満足」（満足 53%、どちらかといえば満足 47%）について 100%を得ています。『満足』の高い項目では、「開所時間内であれば柔軟に対応してくれる等、残業等で迎えが遅くなる場合の対応」についてであり、『満足』は 78%を得ています。また、「基本的生活習慣の自立に向けての取り組み」については、『満足』は 65%となっています。「ほぼ満足」として高い項目では、「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」については、満足 64%、どちらかといえば満足 35%、どちらかといえば不満 2%であり、「ほぼ満足」は 99%となっています。さらに「基本的生活習慣の自立に向けての取り組み」について、「あなたのお子さんが大切にされているか」についての 2 項目については、「ほぼ満足」は 96%という結果になっています。全設問の「ほぼ満足」の回答に関しては 90%以上を示しています。

●アンケートの自由記述からは、「日々の様子を担任の先生（保育士）だけでなく、様々な先生から教えていただけて、目の行き届いた保育園だと感じます」、「お迎えが遅くなってしまった際も、柔軟に対応していただき助かります」、「園の対応や環境等に満足していま

す」、「比較的離職の少ない保育園だと感じています」、「担当の先生や園長先生は、いつも園での様子や声をかけてもらい、とても感じが良いです」、「子どもが園生活を通して自信が付き、積極的になった」等という意見が挙がっており、園の雰囲気、保育士の一生懸命さ、好感度、子どもの接し方に非常に満足し、素晴らし保育園との賞賛や、丁寧な保育士の対応への満足等、保護者から好評価を得、感謝と喜びの声が多く挙がっています。

●『不満』および、比較的『満足』が低い項目は、おおむねありませんが、「保護者懇談会や個別面談等による話し合いの機会」については、『不満』は9%となっており、「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか」について、2項目が中でも特化しています。「保護者懇談会や個別面談等による話し合いの機会」では、『満足』としては15%であり、どちらかといえば満足44%、どちらかといえば不満22%、その他11%を示しており、「ほぼ満足」は59%となっています。また、『満足』が低い項目としてもこの項目が挙げられ、アンケート自由記述でも、「個別面談の機会を作ってほしい」等の意見が多々挙がっています。保育士は、保護者と話しやすい環境、雰囲気作りに努めています。個別の面談を随時受け付けていることをさらに周知する工夫が望まれます。

保育園の「基本理念や基本方針」については、よく知っている27%、まあ知っている58%、どちらともいえない11%、あまり知らない2%、無回答2%という結果になっており、それらの賛同については、賛同できる29%、まあ賛同できる42%、どちらともいえない11%、あまり賛同できない4%、無回答15%にて、71%がほぼ賛同を示しています。保護者から、園の保育での満足を比較的多く得ているので、保育の根幹なる保育目標、保育方針について、懇談会、保育参観、面談等の機会を活用して周知、理解を促す工夫に期待されます。

●アンケートの主な意見では、「個別面談の要望」、「意見箱の設置」、「行事がある時や普段の流れが変わった時の説明」、「連絡ノートの内容の工夫（体調、食事に関して）」、「理念への抵抗」、「性差について」、「職員間の情報共有の、引き継ぎに関して」、「男女平等の保育について（給食当番等）」、「人材配置・育成について」等の意見が挙がっています。それぞれに関しては園から説明、周知されていると思いますが、保護者からの意見、要望等を受け止め、保護者との意見交換の取り組みも視野に入れ、理解や協力につなげられるよう、日々の振り返りと見直しを図る機会を設け、園の良い点を生かし、継続してさらなる良い園作りを期待しています。

●総合的に、『満足』は56%の支持を頂き、『どちらかといえば満足』は38%、『どちらかといえば不満』4%、『不満』2%にて、サービスの提供について、94%「ほぼ満足」している、と捉えることができます。

利用者調査項目（アンケート）

社会福祉法人 大和まほろば福祉会 戸塚せせらぎ保育園

【保育園の基本理念や基本方針について】

※上段%、下段人数で示しています

問 1

利用者調査項目		よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
1	あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか。	27%	58%	11%	2%	0%	2%
		15人	32人	6人	1人	0人	1人
		賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
2	あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	29%	42%	11%	4%	0%	15%
		16人	23人	6人	2人	0人	8人

【保育園のサービス内容について】

問 2 入園する時の状況について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
3	見学の受け入れについては	64%	16%	0%	0%	18%	2%
		35人	9人	0人	0人	10人	1人
《その他意見》							
4	入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	53%	33%	7%	2%	4%	2%
		29人	18人	4人	1人	2人	1人
《その他意見》							
5	園の目標や方針についての説明には	44%	44%	5%	4%	2%	2%
		24人	24人	3人	2人	1人	1人
《その他意見》							

6	入園時の面接などで、お子さんの様子や育成歴などを聞く対応については	47%	42%	4%	0%	5%	2%
		26人	23人	2人	0人	3人	1人
《その他意見》							

7	保育園での1日の過ごし方についての説明には	47%	47%	4%	0%	0%	2%
		26人	26人	2人	0人	0人	1人
《その他意見》							

8	費用やきまりに関する説明については（入園後に食い違いがなかったかを含めて）	56%	29%	11%	2%	0%	2%
		31人	16人	6人	1人	0人	1人
《その他意見》							

問3 保育園に関する年間の計画について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
9	年間の保育や行事についての説明は	42%	35%	15%	4%	4%	2%
		23人	19人	8人	2人	2人	1人
《その他意見》							
10	年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	25%	47%	7%	9%	4%	7%
		14人	26人	4人	5人	2人	4人
《その他意見》							

問4 日常の保育内容について

「遊び」について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
11	クラスの活動や遊びについては（お子様が満足しているかどうか）	56%	33%	4%	5%	0%	2%
		31人	18人	2人	3人	0人	1人
《その他意見》							

12	子どもが戸外遊びを十分しているかについては	56%	35%	7%	0%	0%	2%
		31人	19人	4人	0人	0人	1人
《その他意見》							
13	園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてある、年齢にふさわしいかなど)	47%	40%	7%	4%	0%	2%
		26人	22人	4人	2人	0人	1人
《その他意見》							
14	自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	56%	29%	13%	0%	0%	2%
		31人	16人	7人	0人	0人	1人
《その他意見》							
15	遊びを通じた友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	55%	31%	5%	5%	0%	4%
		30人	17人	3人	3人	0人	2人
《その他意見》							
16	遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	56%	31%	5%	0%	4%	4%
		31人	17人	3人	0人	2人	2人
《その他意見》							

「生活」について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
17	給食の献立内容については	56%	27%	11%	5%	0%	0%
		31人	15人	6人	3人	0人	0人
《その他意見》							
18	お子さんが給食を楽しんでいるかについては	64%	31%	4%	2%	0%	0%
		35人	17人	2人	1人	0人	0人
《その他意見》							

19	基本的生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	65%	31%	4%	0%	0%	0%
		36人	17人	2人	0人	0人	0人
《その他意見》							
20	昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	53%	38%	5%	2%	2%	0%
		23人	21人	3人	1人	1人	0人
《その他意見》							
21	おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	56%	31%	4%	0%	4%	5%
		31人	17人	2人	0人	2人	3人
《その他意見》							
22	お子さんの体調への気配りについては	53%	38%	7%	2%	0%	0%
		29人	21人	4人	1人	0人	0人
《その他意見》							
23	保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	42%	35%	18%	2%	2%	2%
		23人	19人	10人	1人	1人	1人
《その他意見》							

問5 保育園の快適さや安全対策については

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
24	施設設備については	53%	47%	0%	0%	0%	0%
		29人	26人	0人	0人	0人	0人
《その他意見》							
25	お子さんが落ちついて過ごせる雰囲気になっているかについては	42%	49%	7%	2%	0%	0%
		23人	27人	4人	1人	0人	0人
《その他意見》							

26	外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	35%	49%	9%	5%	2%	0%
		19人	27人	5人	3人	1人	0人
《その他意見》							
27	感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	47%	36%	7%	7%	2%	0%
		26人	20人	4人	4人	1人	0人
《その他意見》							

問6 園と保護者との連携・交流について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
28	保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	15%	44%	22%	9%	11%	0%
		8人	24人	12人	5人	6人	0人
《その他意見》							
29	園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	49%	35%	9%	5%	2%	0%
		27人	19人	5人	3人	1人	0人
《その他意見》							
30	園の行事の開催日や時間帯への配慮については	55%	38%	5%	2%	0%	0%
		30人	21人	3人	1人	0人	0人
《その他意見》							
31	送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	25%	47%	22%	4%	2%	0%
		14人	26人	12人	2人	1人	0人
《その他意見》							
32	お子さんの関する重要な情報の連絡体制については	31%	51%	11%	5%	2%	0%
		17人	28人	6人	3人	1人	0人
《その他意見》							

33	保護者からの相談事への対応には	45%	44%	5%	4%	2%	0%
		25人	24人	3人	2人	1人	0人
《その他意見》							
34	開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、 残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	78%	15%	2%	2%	2%	2%
		43人	8人	1人	1人	1人	1人
《その他意見》							

問7 職員の対応について

		満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	その他	無回答
35	あなたのお子さんは大切にされているかについては	58%	38%	2%	2%	0%	0%
		32人	21人	1人	1人	0人	0人
《その他意見》							
36	あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるかについて	64%	35%	2%	0%	0%	0%
		35人	19人	1人	0人	0人	0人
《その他意見》							
37	アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの 配慮については	53%	29%	5%	0%	11%	2%
		29人	16人	3人	0人	6人	1人
《その他意見》							
38	話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	60%	27%	5%	4%	4%	0%
		33人	15人	3人	2人	2人	0人
《その他意見》							
39	意見や要望への対応については	42%	36%	11%	4%	5%	2%
		23人	20人	6人	2人	3人	1人
《その他意見》							

問8 保育園の総合評価

		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
40	総合満足度は	56%	38%	4%	2%	0%
		31人	21人	2人	1人	0人
《その他意見》						

保護者アンケート調査結果（設問別「満足度」総合）

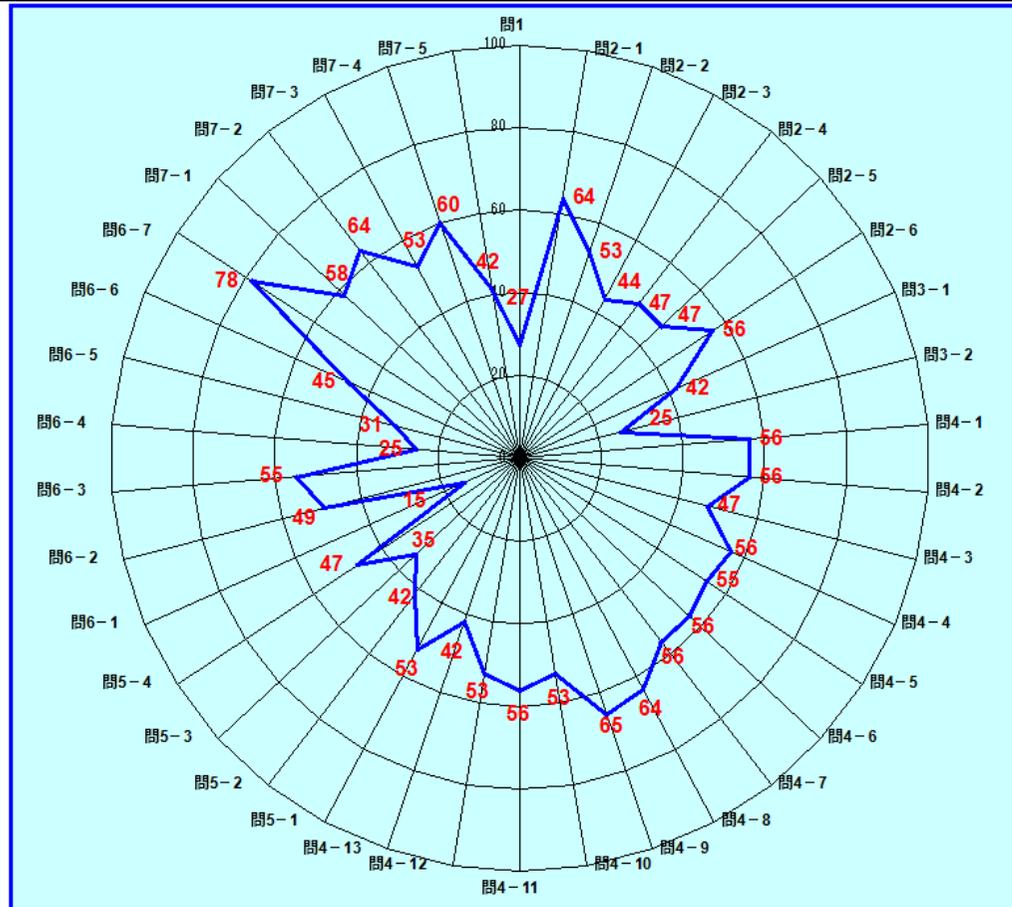
（注）レーダー数値は設問別「満足度」回答率（小数点以下は四捨五入）

調査対象園舎： 社会福祉法人 大和まほろば福祉会 戸塚せせらぎ保育園 横浜市戸塚区矢部町 3001-2 第7山洋ビル 1階

回答世帯数：64世帯中 55世帯 <0歳児(6世帯)、1歳児(12世帯)、2歳児(14世帯)、3歳児(10世帯)、4歳児(9世帯)、5歳児(4世帯)>

定 員： 72名

調査期間： 2017/10/03 ~ 2018/02/16



事業者コメント

戸塚せせらぎ保育園
園長 佐藤 美佳

<評価に取り組んだ感想>

第三者評価の受審では、大変お世話になりました。
横浜市の求める期待基準が、認可園としてどうなのか、職員全体で考えるととても良い機会になりました。
日頃の保育や職員会議だけでは中々じっくりと自園の評価をすることができなかつた分、運営面も保育面も含めてとても勉強になりました。

<評価後取り組んだこととして>

1. マニュアルの見直し
2. 入園のしおり（次年度へ向けて）の見直し
3. 職員間の情報共有の仕方について（ファイルを作成）
4. 保育の理念や方針が理解できているか確認（昼礼、職員会議を通して伝えています）